

薬代が節約できる

「ジェネリック医薬品」を活用しましょう！

国民医療費が毎年増大するなか、医療費の抑制につながると期待されているのが「ジェネリック医薬品」です。

ジェネリック医薬品のメリットを正しく理解し、医療費の削減に加えて、皆さんの家計の負担の軽減にもつながるジェネリック医薬品を積極的にご活用ください。

※国も新薬とほぼ同等の効き目を持ち、価格が安い「ジェネリック医薬品」の利用を促進しています。

ジェネリック医薬品とは？

ジェネリック医薬品とは、新薬（先発医薬品）の特許期間が終了したあとに、他の製薬会社が新薬と同じ有効成分で製造した医薬品のことで、後発医薬品とも呼ばれています。

ジェネリック医薬品を発売するには、厚生労働省の審査を受け、承認される必要があります。

価格は新薬の2～7割

ジェネリック医薬品は、新薬に比べ開発に要する期間・費用が大幅に抑えられるため、ジェネリック医薬品の価格は新薬に比べて2～7割ほど安い価格で設定されています。

※脂質異常症や高血圧症、糖尿病などの慢性的な病気で長期にわたり薬を服用する場合は、ジェネリック医薬品に切り替えると、薬代を大きく減らすことができます。

効き目や安全性は新薬と同水準

ジェネリック医薬品は、厚生労働省によって、効き目や安全性等が新薬とほぼ同等と認められています。

さらに医薬品によっては、味や香り、保存性などが新薬よりも改善されたものもあります。

ジェネリック医薬品を処方してもらうには

ジェネリック医薬品を購入するには、医師の処方せんが必要です。

「ジェネリック医薬品を使えますか？」「ジェネリック医薬品に替えられますか」と医師や薬剤師に相談をしてみましょう。

もし、医師や薬剤師に言いにくい時は、受診の際に険証や診察券と一緒に「ジェネリック医薬品お願いカード」を渡してみよう。「ジェネリック医薬品お願いカード」は、けんぽれんホームページよりダウンロードできます。

※けんぽれんホームページ：<http://kenporen.com/oyakudahi/generichtml>

お試し調剤

これまで服用していた薬をいきなりジェネリック医薬品に切り替えるのに不安がある場合は、まずは1週間分など短期間だけジェネリック医薬品を試すことができる「お試し調剤」があります。

たとえば4週間分の薬のうち、まず1週間分だけ調剤してもらい、服用して問題がなければ残りの3週間分を調剤してもらうなどの「分割調剤」ができます。なお、分割調剤をした場合は、薬局に「後発薬品分割調剤料」を支払うことになっています。詳しくは、薬剤師にご相談ください。